

令和4年度シラバス

奈良県立大和中央高等学校通信制課程

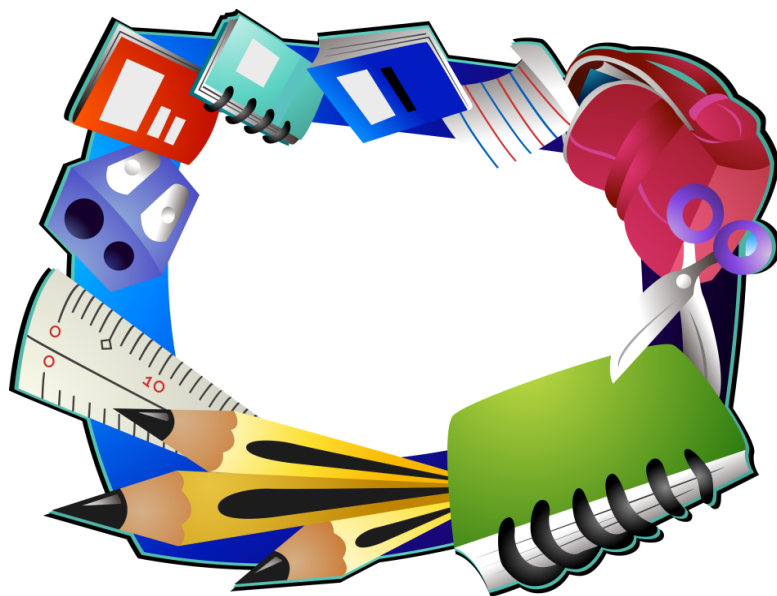
シラバスとは・・・

年間を通しての

☆レポートやスクーリングの学習内容・学習目標

☆教科の評価規準・評価方法

が書かれています。



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
国語・現代の国語		2	6	2	1
目標	現代の魅力ある文章を読み、読む力と伝える力を身につける。				
評価規準	漢字・語句のほか、文章の表現上の特徴や文意について理解しているかを中心に評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	ルリボシカミキリの青(前半)	筆者の思考に触れ、自己の思考や視野を広げる。		
1・2	2	ルリボシカミキリの青(後半) 水の東西(前半)	自己の経験と照らし合わせながら考えを深める。筆者の考えを読み取り、日本文化に関心を持つ。		
2	3	水の東西(後半)	本文中の対比関係を把握し、内容の理解を深める。		
3	4	評論の読み方	評論文とは何かを理解する。		
4	5	スキマが育む都市と緑と生命のつながり①	筆者の思考に触れ、自己の思考や視野を広げる。		
5	6	スキマが育む都市と緑と生命のつながり②	都市部の緑の在り方や生命についての筆者の主張を読み取る。		
6	7	鍋洗いの日々	筆者の理想と現実を把握し、働くとはどういうことかを考える。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
国語・言語文化		2	6	2	1
目標	自ら学ぶ意欲を高め、言語文化の世界に親しむ。				
評価規準	知識・技能(漢字・語彙力)、思考・判断・表現(読解力)の観点から観点別評価を行う。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1・3	さくらさくらさくら	さくらに対する日本人の特別な思いを知る。		
2	2・3	児の空寝	歴史的仮名遣いを学ぶ。		
3	4	詩歌	近代短歌・俳句を鑑賞する。		
4	5	羅生門	登場人物の心理の変化を読み取る。。		
5	6	徒然草	兼好法師の考えを捉え、自分の考え方を深める。		
6	7	漢詩	詩中の情景や作者の心情を読み取り、漢詩に親しむ。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
国語・国語表現		3	9	3	3
目標	言語表現能力を高める。				
評価規準	言葉による適切な表現ができているか。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	面接 相手を知る①	履歴書の書き方を学び、身につける。		
2・3	2	待遇表現(敬語)・言葉遊びと創作①	敬語によるコミュニケーションを学ぶ。短歌を学び創作する。		
4	3	面接 相手を知る②	面接の受け方を学ぶ。		
5・6	4	文章表現の基礎・小論文	文字表記からわかりやすい文章の書き方までを学ぶ。小論文の構成を学び、実際に書いてみる。		
7	5	レトリックの工夫	修辞法を用いて文章表現を工夫してみる。		
8・9	6	励ます言葉・受け入れる言葉 言葉遊びと創作②	人間関係を保ち作り替えていく言葉の用法を学ぶ。俳句を学び、創作する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
国語・現代文B		4	12	4	2
目標	詩・随想・評論・小説なジャンルの作品に触れ、ものの見方や感じ方・考え方を広げたり、深めたりする。				
評価規準	自分の考え方を深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり、読書に親しんだりする。国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重して、その向上を図り、進んで表現したり、理解したりしようとする。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	「私」という「自分」	筆者の思考方法に触れ、自己の思考や視野を広げる。		
2	2	情けは人の……①	筆者の言葉に対する思いを理解し、自分の言語生活について振り返る。		
3	3	情けは人の……②	筆者の言葉に対する思いを理解し、自分の言語生活について振り返る。		
4・5	4	折々の歌①②	近代短歌・俳句の表現法を学び、情景や心情を読み取り鑑賞する。		
6	5	鼻①	主人公の性格や生き方を考え、その人間像を把握する。		
7	6	鼻②	技巧的な文章表現に注目し、効果を考える。		
8	7	こころ	近体詩に親しみ、表現の特色を知り、鑑賞する。		
9・10	8	経験の教えについて①②	論の展開の特徴を理解し、論旨を把握する。経験に学ぶことの重要性を考える。		
11	9	デューク①	現代小説に触れ、そのおもしろさを味わう。		
12	10	デューク②	登場人物の心情を読み取り、その変化を捉える。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
国語・古典B		4	12	4	日3・平4
目標	古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。古典についての理解や関心を深め、文化と伝統を尊重する態度を身につける。				
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。 ・古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につける。 				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1・2	1	『十訓抄』『古今著聞集』	説話文学の多様性とおもしろさを知り、古文に親しみをもつ。		
3	2	『伊勢物語』(初冠)	登場人物の言動や心の動きの描写に目を向け、理解する。		
4	3	『徒然草』(公世の二位のせうとに)	各章段に通底する作者のものの見方・考え方の特徴を把握する。		
5	4	『方丈記』(ゆく川の流れ)	時代背景とともに人々の考え方に触れる。		
6	5	『枕草子』(春はあけぼの)	作品の時代の生活・知識・感情などを理解する。		
7	6	『枕草子』(うつくしきもの)	作品の時代の生活・知識・感情などを理解する。		
8	7	『大鏡』(弓争ひ)	作品の時代の生活・知識・感情などを理解する。		
9	8	和歌「万葉集・古今集・新古今集」	三大歌集の歌風の違いを理解する。		
10	9	和歌「万葉集・古今集・新古今集」	何を歌おうとしているかを、表現に即して考える。		
11・12	10	漢文(画竜点睛)(推敲)	訓読法を理解し、故事成語の由来を知る。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
地理歴史・地理総合		2	6	2	1
目標	社会的諸事象に対し、地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点を持ち、グローバル化が進む国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。				
評価規準	社会的事象等について(～は～であると)理解し、その知識が身に付けている。 ・事実等に関わる知識(用語・語句などを含める) ・概念等に関わる知識(特色、意味、理論など) 社会的な見方・考え方をを用いて社会的事象等を見出し、意味や意義、特色や相互の関連を考察できる。 社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想できる。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	私たちが暮らす世界 地図や地理情報システムの役割	さまざまな地図の特徴と表現できる情報について学ぶ。領土、領域について理解し、実際の社会的な事象と結び付けて考える。		
2	2	資料から読み取る現代社会 生活文化の多様性と国際理解	交通機関や情報通信網の発達とそれにともなう社会の変化を学ぶ。世界の多様な文化について学び、文化・民族とは何かを理解する。		
1・2	3	前期の復習	前期のレポート範囲を復習し、試験にそなえる。		
3	4	生活文化と自然環境(地形・気候)	世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学ぶ。多様な地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解する。		
4	5	生活文化と産業 地球環境・資源・エネルギー問題	食生活や農業の地理的分布について学ぶ。地球の環境問題や資源・エネルギー問題について、これまで学習した地理的な事象を踏まえて理解する。		
5	6	人口・食料・居住・都市・民族問題 持続可能な社会の実現を目指して	地球的な諸課題が互いに複雑に関連し合っていることを理解する。持続可能な社会の実現について、身近な課題から主体的に考える。		
6	7	日本の自然環境の特色 さまざまな自然災害と防災	日本の地形・気候の特徴について学び、自然災害と関連づけて理解し、防災・減災のために身近な生活の中でできることを把握する。		
3～6	8	後期の復習	後期のレポート範囲を復習し、試験にそなえる。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
地理歴史・世界史B		4	12	4	2
目標	世界史に関する興味・関心を高め、意欲的かつ地道に学習する習慣や態度を身につける。世界史の大きな枠組みと流れを知り、我が国と諸地域世界の歴史と関連付けながら理解する。また、主題学習を通して客観的で公正な物の見方をそだてることともに、広い視野から歴史を考察できるようになる。				
評価規準	世界各地域の風土と、その影響下にある文化・文明の特徴を把握でき、相互に影響を及ぼしながら現代の世界を形成してきた過程を理解している。またそれを理解するための基本的なできごとを覚えている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	文明の始まり 西アジア世界・地中海世界の形成	農耕を基礎に文明を成立させ、ローマ帝国により地中海世界が形成されたことを把握する。		
2	2	東南アジア世界の形成と古代インド文明	この地域での仏教の発展、南・東南アジア世界の形成過程を理解する。		
3	3	中国帝国内陸アジア世界の形成	黄河文明にはじまる中国各王朝と東アジア世界の形成を理解する。		
4・5	4	イスラーム世界の形成と拡大 ヨーロッパ世界の形成と変動	西アジアイスラーム諸国家の形成過程を理解する。 ヨーロッパのキリスト教諸国家の形成過程を理解する。		
6・7	5	内陸アジア世界とモンゴル帝国の興亡 ムガル・オスマン帝国の繁栄	宋～清の諸民族のかかわりを理解する。またムガル・オスマン帝国や日本・東南アジアの繁栄を理解する。		
8	6	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	近代ヨーロッパの誕生と近代的な考え方を理解する。		
9	7	産業革命と国民国家の形成	産業革命以降に変化する社会とともに、市民革命や労働運動・民族主義が台頭することを理解する。		
10	8	世界市場の形成とアジア諸国 世界の分割	ヨーロッパの侵略や帝国主義に対するアジア諸国の動揺と改革を理解する。		
11	9	二つの世界大戦	国際秩序の変動と大戦の性格を理解する。		
12	10	戦後世界の形成と変容	米ソ冷戦と終結など、現在の国際情勢と日本のかかわりを理解する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。 正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
地理歴史・日本史B		4	12	4	3
目標	我が国の歴史の各時代の特色を学び、日本の伝統と文化に関する知識を身に付ける。 自国の歴史だけでなく、国際社会との関連を視野に入れ、我が国の歴史と文化を考察する。				
評価規準	我が国の歴史、文化、伝統を深く理解し、資料などを多面的多角的に考察し、歴史的な見方や考え方を身に付けている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1・2	1	原始農耕社会と律令国家の形成 平安時代	古代日本人の生活に触れ、古代国家の形成過程を学ぶ。 平安時代の貴族政治、貴族の代わりに台頭した武士による政治についても学ぶ。		
3・4	2	鎌倉幕府と室町幕府	鎌倉幕府滅亡と天皇親政の一時的な復活、室町幕府の政治から戦国の混乱期を理解する。		
4・5	3	室町時代 文化史①(飛鳥～東山)	飛鳥文化から東山文化にいたる過程を理解する。		
1～5	4	前期の復習	前期のレポート範囲を復習し、前期試験にそなえる。		
6・7	5	幕藩体制の成立～幕末	江戸幕府の形成と過渡期から大政奉還までを学ぶ。		
8	6	明治維新と立憲政治の成立	明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。		
9	7	日本の近代化と第一次世界大戦	近代国家として発展しつつある日本。政党政治の成立と、その背景にあったデモクラシーの風潮の高まりについて理解する。		
10	8	日中戦争と太平洋戦争	国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。		
11・12	9	戦後～現在の日本 文化史②(安土桃山～現代)	戦後日本の民主化の過程を理解し、現代社会を眺める。 安土桃山～現代文化を理解する。		
6～12	10	後期の復習	後期のレポート範囲を復習し、後期試験にそなえる。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。 正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
地理歴史・地理B		4	12	4	日3・平4
目標	現代世界の諸地域の特色や諸課題を歴史的背景を踏まえ、地誌的に考察する。日本に関連する国家やニュースなどで見聞きする国家の位置を把握することで地理的な見方や考え方を培い、世界と関連づけて日本の諸課題を考える。				
評価規準	さまざまな地図や統計・画像を読み取り、それを地誌的、統計地理的に考察し、世界の変化に合わせて公正に判断し、現代社会の地理的事象に対する課題意識を持っている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1・2	1	地理情報と地図 自然環境・世界の気候	世界の成り立ち・気候を知り、その地域の特色を理解する。		
2・3・4	2	世界の気候。東アジア・東南アジアの産業・農業・工業	産業・農業・工業の発展過程を学び、世界の特色を理解する。		
4・5	3	東南アジア・南アジア	都市と村落の成立と発展、構造や形態を考察する。また、諸地域の文化・考え方の違いなどを理解する。		
1～5	4	前期の復習	前期のレポート範囲を復習し、前期試験にそなえる。		
6・7	5	西アジア・アフリカ 世界の人口と都市	各国の地形・産業の特色を理解する。 世界の食糧問題、人口問題について理解する。		
8	6	ヨーロッパ	各国の地形・産業の特色を理解する。		
9	7	ロシア	ロシアについてと、現代社会の諸問題を学習することにより、その解決方法を考える。		
10・11	8	南北アメリカ	各国の地形・産業の特色を理解する。		
12	9	オセアニア	国際機構と日本の近隣諸国の文化・風習・産業などの特色を理解する。		
6～12	10	後期の復習	後期のレポート範囲を復習し、後期試験にそなえる。		
評価方法	定期試験70％・スクーリング評価10％・レポート20％。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。 正答率80％未満の場合は、不合格(再提出)とする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
公民・公共		2	6	2	1
目標	公共的な空間に生きる私たちにとっての現代社会の諸課題について、倫理・社会・文化・政治・経済などの観点から追究して興味・関心を高め、その解決に向けて主体的に取り組むための資料の収集や活用、メディアの活用などの学び方(スキル)を習得する。また、それらを利用して、公共の空間と自己との関わりに着目して自らの在り方・生き方について主体的に考える。				
評価規準	現代の日本社会について、政治・経済・文化の基本的なしくみや特徴を理解するとともに、公共的な空間で生活を営む自分自身の考え方を構成するための客観的な材料の存在を広く理解した上で、公民としての在り方・生き方について主体的に考え、具体的に取組もうとしている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	青年期の特徴と自己形成の課題	青年期の特徴と課題、個人、社会、伝統・文化の三つの視点から人間の在り方について理解する。		
2	2	日本国憲法と民主政治①	民主政治と日本国憲法の基本原理を理解する。		
1・2	3	前期の復習	前期のレポート範囲を復習し、前期試験にそなえる。		
3	4	日本国憲法と民主政治② 個人の尊重と法の支配	法のはたらきと私たちの生活とのかかわり、司法のしくみや枠割について理解する。		
4	5	現代の経済のしくみ	現代の経済のしくみ、市場や財政、社会保障について理解する。		
5	6	私たちの職業生活 国際社会	働くことの意義や労働問題、国際社会のルールとしくみについて理解する。		
6	7	国際社会と人類の課題	国際平和への課題やグローバル化する国際経済について理解する。		
3～6	8	後期の復習	後期のレポート範囲を復習し、後期試験にそなえる。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
公民・倫理		2	6	2	日2・平3
目標	「よりよい生き方」とは何かを、「自分とは何か」「人間とは何か」という問いにまでさかのぼって考える。抽象的な理論を暗記したり、思想家の名前を覚えることに終わらず、先人の生き方・考え方を「学ぶ」という姿勢を大切に。学びながら思い、思いながら学んで、自分自身のよりよい人生の確かな輪郭をつくることを目標とする。				
評価規準	先人の「生き方・考え方」のおもな特徴を理解したうえで、自分の考えと照らし合わせることができている。また現代を生きる人間のひとりとして、他人事ではなく、自分のこととして考えることができている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	青年期と古代ギリシア思想	青年期の位置づけや特徴を確認し、青年期の課題について考え、ソクラテス・プラトン・アリストテレスの思想を理解する。		
2	2	世界の宗教	キリスト教、イスラームをはじめ、世界の宗教を理解する。		
3	3	中国の古代思想と日本人の精神風土	中国の古代思想と日本の風土に培われ、外来の思想を吸収されつつ形成された日本独自の考え方を理解する。		
4	4	ルネサンス・宗教改革とヨーロッパの思想	ルネサンス・宗教改革とヨーロッパに代表される合理的精神の確立への課程を理解する。		
5	5	近代・現代思想	近代～現代の思想について理解し、実存主義、社会主義について理解する。		
6	6	現代の課題を考える	生命倫理・環境倫理・家族・個人のあり方などさまざまな課題について、現代の日本に生きる一人として考える。		
評価方法	定期試験70％・スクーリング評価10％・レポート20％。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。 正答率80％未満の場合は、不合格(再提出)とする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
公民・政治・経済		2	6	2	日3・平4
目標	民主主義と資本主義について理論的・体系的に学習し、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。また、以上の理解を踏まえて現代の諸課題について、多面的・多角的かつ主体的に考察し、公正な判断力を身に付ける。				
評価規準	現代の政治・経済・国際関係に関する基本的な事柄や概念・理論を理解し、社会の一人として、平和で民主的な社会生活の実現と推進について考えることができている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	民主政治と日本国憲法の基本原理	民主主義の成り立ちを歴史的、比較政治的観点から理解するとともに、日本国憲法の基本的な内容も理解する。		
2	2	日本の政治機構と戦後政治 世界の政治機構	日本国憲法の内容について理解し、国会・内閣・裁判所について学び、戦後政治の課題について考える。また、世界の政治機構についても理解する。		
3	3	国際社会の流れと現代資本主義社会	現代政治の問題点についてと、国際社会の流れについても考える		
4	4	市場経済と金融のしくみ	市場経済における需要と供給の問題を考え、金融のしくみについて理解する。		
5	5	現代社会の諸問題と国際流通	現代社会の問題について考え、国際流通についても理解する。		
6	6	労働と社会保障、国際問題	労働問題の歴史、労働条件の向上について理解する。社会保障の意義やしくみを知り、国際社会の課題について考える。		
評価方法	定期試験70％・スクーリング評価10％・レポート20％。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。 正答率80％未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
数学・数学 I		3	9	3	2
目標	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識し、それらを活用できるようなる。				
評価規準	数を実数まで拡張し、簡単な無理数の四則計算ができること。集合と命題に関する基本を理解すること。二次の乗法公式及び、因数分解の公式の理解を深め、目的に応じて式を適切に変形したりすること。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができること。三角比の意味やその基本的な性質について理解し、具体的な問題の解決や測量に活用できること。二次関数とそのグラフの特徴について理解し、値の変化を考察することにより、関数の最大値・最小値を求めることや二次不等式の解を求めることができること。統計の基本的な考えを理解し、それらを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	整式の計算と式の展開	文字を使った式の四則計算ができる。式の展開ができる。		
	2	因数分解	因数分解ができる。		
2	3	平方根の計算	平方根の計算ができる。		
	4	方程式と不等式	一次方程式、不等式が解ける。		
3	5	二次方程式	二次方程式が解ける。		
	6	連立不等式	連立不等式が解ける。		
4	7	関数の基礎を復習する	後期にむけ、関数の基礎を復習する。		
	8	関数①	対応表をつくり、基礎的な二次関数のグラフを描けるようになる。		
	9	関数②	対応表をつくり、二次関数のグラフを描けるようになる。		
5	10	関数③	二次関数の式を標準形に変形する。		
	11	関数④	二次関数の式を標準形に変形して、グラフが描ける。		
6	12	関数⑤	二次関数のグラフと二次方程式の関係を理解する		
	13	関数⑥	二次関数のグラフと二次不等式の関係を理解する		
7	14	三角比①	三角比を理解する。		
7・8	15	三角比②	直接測れないものの高さを測る。三角比を使って三角形の面積を算出できることを理解する。		
8	16	三角比③	正弦定理、余弦定理を活用して、問題を解決する。		
9	17	集合と論証	集合の意味を理解する。数学的命題を理解し、対偶を使った証明ができる。		
	18	データ分析	資料から代表値や散らばり具合の算出方法を理解し、グラフからデータの特徴を読み取れるようにする。		

評価方法 定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。不合格の場合は再提出とする。

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
数学・数学A		2	6	2	3
目標	集合、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識し、それらを活用できるようになる。				
評価規準	集合の基本的な概念を理解できている。場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できている。平面図形や空間図形の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できている。整数の性質について理解を深め、それを事象の考察に活用できる。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	集合	集合の意味を理解する。		
	2	場合の数	場合の数の意味を理解する。		
2	3	順列	順列について理解、順列の計算ができる。		
	4	組合せ	組合せについて理解、組合せの計算ができる。		
3	5	確率	確率の意味、計算方法を理解する。		
	6	三角形の性質	三角形の比の関係を理解する。三角形の重心、外心、内心の意味を学び、理解する。		
4	7	円の性質①	円周角の定理、2つの円の性質について理解する。		
	8	円の性質②と作図	円と四角形、方べきの定理を理解する。図形のさまざまな性質を使っているいろいろな図形を作図する方法を学ぶ。		
5	9	約数と倍数	約数、倍数、素因数分解を復習する。ユークリッドの互除法について理解する。		
	10	整数の性質①	方程式の整数解の意味を理解する。		
6	11	整数の性質②	分数と小数の関係を理解する。方程式の整数解の意味を理解する。		
	12	進数	2進数と10進数について理解する。		

評価方法 定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。不合格の場合は再提出とする。

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
数学・数学入門		2	6	4	1
目標	計算が苦手なため、数学を難しいと感じている人のために、高校数学に関係深い小中学校の学習内容、特に計算を基本から見直し、数学的な思考力・表現力ができるようになり、数学の楽しさや数学のよさを実感する。				
評価規準	分数の四則計算ができています。正の数と負の数の四則計算ができています。文字を用い数量の関係や法則などを式に表現したり、式の意味を読み取ったりする能力を身に付けるとともに、式の計算ができています。方程式について理解し、方程式が解ける。数の平方を理解し、平方根の概念について理解を深める。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	学習プレリユード かけ算の九九、公倍数、公約数	かけ算の九九ができる。倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数を求めることができる。		
	2	分数の性質と約分、通分	分数の意味を理解する。通分、約分ができる。		
	3	分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算	分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。		
2	4	正負の数のたし算、ひき算	正負の数のたし算とひき算ができる。		
	5	正負の数のかけ算、わり算、累乗計算	正負の数のかけ算とわり算、累乗の計算ができる。		
	6	計算の順番	計算の優先順序に気をつけながら、計算できる。		
3	7	文字を使った式、文字式の表し方 単項式、多項式の次数、多項式の整理	文字式の役割を知る。文字式の表し方のルールを理解する。単項式、多項式の次数、係数を理解する。同類項をまとめることができる。		
	8	多項式の加法、減法、乗法、除法	多項式の加法、減法、乗法、除法ができる。		
	9	単項式の乗法、除法 単項式と多項式の乗法、除法	単項式どうしの乗法、除法ができる。 単項式と多項式の乗法、除法ができる。		
4	10	式の展開	式の展開の仕方を知る。乗法公式が使える。		
	11	因数分解	共通因数と因数分解の意味を知る。		
	12	式の値	文字を数字におきかえて計算した結果を求めることができる。		
5	13	平方根の性質	$\sqrt{\quad}$ の意味を正しく知り、平方根との違いを理解する。		
	14	根号を含む式の計算(1)	$\sqrt{\quad}$ を含むたし算をひき算の計算を身につける。		
	15	根号を含む式の計算(2)	$\sqrt{\quad}$ を含むかけ算とわり算の計算を身につける。		
6	16	1次方程式	1次方程式の解き方を知る。		
	17	2次方程式	因数分解によって2次方程式を解く。		
	18	解の公式	解の公式を使って2次方程式を解く。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
数学・実践数学		2	6	2	日3・平4
目標	就職、専門学校(特に看護系)、文系の大学を希望する生徒に、数学Ⅰ・数学Aを復習し、数学Ⅰ・数学Aにおける定理について理解を深め、問題解決の習熟を図り、それらを積極的に活用する態度を育てる。				
評価規準	整式、不等式の計算の実践的な問題が解ける。二次関数、二次方程式、二次不等式の実践的な問題が解ける。三角比の応用問題が解ける。集合、場合の数、確率の実践的な問題が解ける。整数の性質、図形の性質の実践的な問題が解ける。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	数と式	整式の四則計算、展開、因数分解		
	2	数と式	整式の四則計算、展開、因数分解		
2	3	数と式	平方根の計算の復習と実践的な問題が解ける。		
	4	数と式	一次不等式、絶対値を含む方程式と不等式が解ける。		
3	5	二次関数①	二次関数のグラフが描けて、頂点や軸の特徴を使い問題が解ける。		
	6	二次関数②	二次関数のグラフが描けて、頂点や軸の特徴を使い問題が解ける。		
4	7	二次方程式と二次不等式	二次方程式と二次不等式の解法が理解でき、文章問題が解ける。		
	8	二次関数の応用	二次関数の応用問題が解ける。		
5	9	三角比	三角比を理解し、計算ができる。		
	10	三角比の応用	正弦定理、余弦定理、三角形の面積などの計算ができる。		
6	11	集合	集合を理解する。		
	12	場合の数、確率	場合の数の計算ができる。確率の計算ができる。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。不合格の場合は再提出とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
数学・数学活用		2	6	2	日3・平4
目 標	数学的な思考力・表現力ができ、数学の楽しさや数学のよさを実感する。				
評価規準	テーマ別課題に積極的に挑戦し、問題解決に取り組む。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	割合の計算	濃度の計算、原価計算など割合を使った計算方法を理解する。	就職用	
2	2	単利法、複利法のしくみ	単利法、複利法のしくみを理解する。		
	3	ローンの仕組み	ローンの仕組みを理解する。		
3	4	長さの単位の歴史	長さの単位の歴史、メートル法を理解する。		
		単位換算	単位換算計算の仕組みを理解する。(就職用)	単位変換ジャックを作る	
4	5	建物の高さを求めよう	勾配を利用して、建物や塔などの高さを求めてみる。 カクシリキを使って教室の高さや校舎の高さを測ることができることを理解する。	カクシリキを作り、使う	
	6	GPS衛星	現在の位置を知る方法の原理について理解する。		
5	7	近似直線	近似直線の方程式により、事象の予測が出来ることを学ぶ。		
	8	標本調査	集団の資料の一部を取り出して調べ、全体の様子を推測してみよう。		
6	9	エジプト、バビロニア、ローマ数字、n進法	古代エジプト、バビロニア、ローマ数字の仕組みを理解する。 10進法、5進法、2進法、16進法などの進法の仕組みを理解する。		
	10				
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。不合格の場合は再提出とする。				

